



あすなろっこ



令和8年2月2日発行
社会福祉法人岡山こども協会
あすなろこども園

〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665



早いもので、ゆき組で過ごす時間も残りわずかとなりました。進級、入園当初は大人に抱っこされていたこどもたちが、今では自分の思いを表情やことばで伝えようとする姿に、日々成長を感じています。

あそびから手洗いやトイレなどへ向かう時も、保育者の声かけより友だちと「手を繋いでいきたい」というこどもなりの思いがきっかけになることもあります。ことばだけでなく、表情や仕草、行動を通して自分なりの思いを伝える姿が多く見られてきました。一人ひとりに思いがあることを大切にしながら、こどもたち自身が気づき関わり合う姿を、これからも丁寧に見守っていきたいと思います。

～もちつき～

内田 菜月

1月7日(水)もちつきをしました。朝から園庭で準備をはじめ、小さいクラスから順番にもちつきの様子を見たり、大きいクラスでは、実際に体験したりしました。みんな協力して出来たおもちは、白くてモチモチ、ホカホカで、とてもおいしかったです。

サポーターの方にも来ていただき、貴重な日本文化を体験することができました。ありがとうございました。

延岡 恵子



きゅうしょくの じかん

【材料・作りやすい分量】

- ・おから 75g
- ・米粉 75g
- ・三温糖 40g
- ・ベーキングパウダー 5g
- ・塩 少々
- ・米油 38g

【作り方】

①全ての材料を混ぜ合わせ、ひとまとまりにする。

※まとまらない時は、水を少しずつ足す。生地を両手でギュッとしてまとまるぐらい。

②小さじ1ぐらいの量の生地を丸め、5mmぐらいの厚さにつぶす。

③170℃のオーブンで20分ほど焼く。

1



2



3



～ザクザク～
おからクッキー



... — ... — ... — ... 今月のテーマ

はな組（0歳児）

『福笑い～1月製作～』

今月は今年の干支「午」で福笑い製作をしました。本来は、目を隠して行なう福笑いですが、はな組仕様でこどもたちに「目はど～こだ」「ほっぺた、知っているかな？」など聞くと、こどもは自分の目や口を指さして大笑い。自分の身体の部位がわかってきているんだなと成長を感じました。

朝倉 満里奈

～伝統あそび～



おおきな“わ”
だより

ゆき組（1歳児）



『福笑い』

今月はお正月あそびの福笑いをしました。ゆき組では目隠しはせず、顔のパーツを見たり触ったりしながら楽しんでいきます。「これはどこかな？」と問いかけながら保育者と一緒に確認する中で、思い思いに並べていくこどもたち。友だちが並べている姿を見て近くに行ったり、同じように並べてみたりと、あそびの中で友だちを意識する姿が育っています。できあがった顔を見て笑い合いながら、福笑いの楽しさがクラス全体に広がったほっこり時間でした。

内田 菜月



にじ組（2歳児）

『カルタあそび』

にじ組でかるたをしました。絵や読み札の言葉を聞いて「どれだろう？」とイメージするものを探しています。見つけれると「これ！」と言ってとても得意な表情。ぴったり当てて、カードが取れるととても嬉しそうです。取れなくて悔しくて、時には泣いちゃうこともあります。次こそ取ってやる、と繰り返し楽しみながらいろいろな言葉や物の名前を覚えています。

小山 柊哉



つき組（3歳児）



『たこ・たこ あがれ〜』

ナイロン袋を使って凧作りをしました。自由に絵を描いたら、すずらんテープを好きなところにテープで貼り、世界に一つの自分だけの凧が完成。「どうすると高く凧があがるかな？」という保育者の投げかけに、こどもたちからは「いっぱい走る」という声がありました。いざスタート！保育者にも熱が入り「手を高くあげてみるといいよ」とコツを伝えつつ、凧あげを存分に楽しむことができました。友だちの凧を見て「高く飛んでいるね」と互いに声をかけ合う姿や、一緒に楽しく走り合う姿、それぞれ思いを感じ合う様子が素敵だと思う瞬間でした。

岩竹 笑利奈

『こまの製作』

日頃からこまを楽しんでいるこどもたち。手首をしっかり使って友だちと一緒にいろいろな回し方を試しています。そこで牛乳パックでこまを作ることにしました。慎重にはさみで線の上を切って、ペンで色塗りをしました。ペンで塗る際も指に付かないように気を付けながら大切に作っていたこどもたち。完成したこまを回してみると自分だけのさまざまな柄がきれいに回る様子を見て、「すごい！」「きれい！」とくり返し楽しみました。

坂本 夕梨香

ほし組（4歳児）



そら組（5歳児）



『伝承あそびってなんだろう？』

朝のあつまりの時間にこどもたちと伝承あそびについて話をしました。“伝承あそび”という聞きなれない言葉に首をかしげる子もいます。「昔からずっと伝わっているあそびのことだよ」と伝えると「けん玉とあやとりは昔からあるあそびって聞いたよ」とAさん。その後、こまやかるとなどいろいろ出てきました。

実際にコマやあやとり、けん玉に挑戦しました。「難しい！」と呟きながらもじっくり遊び込むこどもたちです。コマ回しは、紐がなかなか上手く巻けず何度も失敗しながらも諦めず続けていました。回せるようになるまで取り組み、技を一緒に磨こうと思います。

岡本 未来

学童クラブ

『けん玉名人現る』

室内あそびで、けん玉を自然と手に取るこどもたち。そんな中、上級生たちは「僕の見て！私を見て！」と玉を軽々と乗せ、技を次々と決めていきます。その自信に満ち溢れた姿はまさに名人そのものです。下級生たちも思わず見入っていました。「自分もやってみたい！」と憧れの気持ちが広がる素敵な場面です。

池田 菜花



子育て支援センター



『わらべうたあそび』

子育て支援センターでは、毎週月曜日の「あかちゃん&マタニティママデー」の時間で「わらべうた」に親しんでいます。あかちゃんと保護者とのふれあいの時間となり、笑顔がたくさんあふれています。「おいでやす」・「おおかげこい」・「にぎりばっちり」などが人気のわらべうたです。

石川 香織

こかげより（法人事務局）

かつては、刈り取り後の田んぼを思い切り走れば、面白いように風が高く揚がったものでした。今はなかなかそうした場所も少なくなりましたが、風を掴んで風が揚がる瞬間のあの感動を、今のこどもたちにもなんとか伝えていきたいものです。

浅野 英臣

